

第 8 回 県有施設・県出資団体等調査特別委員会資料

出資団体改革等の推進について ～出資団体の概要～

公益財団法人茨城県防犯協会（警察本部）

令和 6 年 5 月 10 日（金）

出資団体の業務・運営等の現状と課題

【公益法人等会計用】

団体 番号	32	団体名	公益財団法人茨城県防犯協会			代表者	理事長 川又 幹夫		
		所在地	水戸市千波町1918番地（茨城県総合福祉会館内）			所管部課	警察本部生活安全総務課		
		設立年月日	昭和31年4月1日						
基本財産		148 百万円			うち県出捐金	30 百万円		出捐比率	20.3 %
主 な 出 捐 者	出捐順位	出 捐 者 名				出 捐 額		出 捐 比 率	
	1	茨城県				30 百万円		20.3 %	
	2	株式会社常陽銀行				5 百万円		3.4 %	
	3	茨城県遊技業防犯協力会				2 百万円		1.4 %	
	4	株式会社日立製作所				2 百万円		1.4 %	
	5	一般社団法人茨城県警備業協会				1 百万円		0.7 %	
設 立 目 的	犯罪のない明るい社会の実現を目指して、茨城県内において、防犯思想の普及・高揚、善良な風俗の保持及び風俗環境の浄化並びに少年の非行防止を図るとともに、各種の防犯団体の円滑な連携・発展を推進し、犯罪の防止及び青少年の健全育成に寄与する。								
業 主 た 務 る	1 防犯活動推進事業 ・防犯思想の普及高揚 ・地域安全情報の提供 ・犯罪被害防止対策の推進 ・防犯ボランティア団体の結成促進、育成、支援 ・自転車等盗難被害防止対策の推進 ・少年非行防止及び健全育成活動の推進 ・防犯器具普及活動の推進 ・表彰活動 2 風俗環境浄化に関する事業 ・風俗営業者管理者講習の実施								
主 た る 事 業	事業名	令和6年度事業費	事 業 内 容						
	防犯活動推進事業	28 百万円	防犯思想の普及高揚、地域安全情報の提供、犯罪被害防止対策の推進、防犯ボランティア団体の結成促進・育成・支援、自転車等盗難被害防止対策の推進、少年非行防止及び健全育成活動の推進、防犯器具普及活動の推進、表彰活動						
	風俗環境浄化事業	1 百万円	風俗営業者管理者講習						
		百万円							

(令和5年7月1日現在)

組織関係 (県の人的関与の状況)	区分	H26		H27		H28		H29		H30		R1		R2		R3		R4		R5		
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB	
役員数	常勤理事・監事	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤理事・監事	21	0	2	21	0	2	21	0	2	21	0	2	20	0	2	20	0	3	19	0	3
	計	22	0	3	22	0	3	22	0	3	22	0	3	21	0	3	21	0	4	20	0	4
職員数	管理職	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	一般職	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	臨時職員	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	0	1	5	0	1	5	0	1	5	0	1	5	0	1	5	0	1	5	0	1
	派遣等割合	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%

(単位：百万円)

県の財政的関与の状況	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5予算	R6予算
		補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託料	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指定管理料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
財政的関与の割合	2.7%	2.9%	0.0%	2.9%	3.0%	2.9%	2.9%	3.0%	2.9%	3.2%	3.3%	
損失補償・債務保証残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸付金	実行額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金等の内容	補助金	該当なし										
	委託料	風俗営業管理者講習委託費										
	指定管理料	該当なし										
	貸付金	該当なし										

(単位:百万円)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
決算状況の推移	経常収益計 ①	37	34	36	35	33	34	34	33	34
	基本財産運用益	2	2	2	2	1	1	1	0	0
	受取会費	10	10	10	10	10	10	10	10	12
	受取補助金等	2	1	1	1	2	1	1	1	1
	事業収益	23	21	23	22	20	22	22	22	21
	その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経常費用計 ②	36	34	36	35	33	32	32	33	35
	事業費	34	32	34	33	31	30	30	31	33
	管理費	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	当期経常増減額 ③ (①-②)	1	0	0	0	0	2	2	0	△ 1
	経常外収益計 ④	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経常外費用計 ⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期経常外増減額 ⑥ (④-⑤)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	法人税等 ⑦	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(当期利益) ⑧ (③+⑥-⑦)	1	0	0	0	0	2	2	0	△ 1	
正味財産期首残高⑨	153	154	154	154	154	154	156	158	158	
当期指定正味財産増減額⑩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
正味財産期末残高 ⑪ (⑧+⑨+⑩)	154	154	154	154	154	156	158	158	157	
財産の状況	資 産	161	162	162	162	163	165	166	167	167
	流動資産	3	4	3	3	3	5	6	7	6
	固定資産	158	158	159	159	160	160	160	160	161
	負 債	7	8	8	8	9	9	8	9	10
	流動負債	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	固定負債	5	6	6	6	7	7	6	7	8
正味財産	154	154	154	154	154	156	158	158	157	

経営評価	評価対象年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
	評価結果	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好

令和4年度決算に係る経営評価結果	
総合的所見	対応
<p>○本県の刑法犯認知件数は19年連続で減少していたが、令和4年中は前年と比較すると約1,700件の増加に転じた。特に、住宅侵入窃盗及び自動車盗の犯罪率(人口10万人当たりの認知件数)は全国第1位となっており、県民の治安に対する不安を払拭するためにも、法人の果たすべき役割の重要性はますます高まっている。</p> <p>○引き続き、犯罪の起きにくい社会づくりを推進するため、関係機関等と連携して、犯罪被害が発生する原因や課題を分析し、効果的な啓発活動を行うなど、地域の防犯力強化のため防犯思想の普及・高揚に取り組まれたい。</p> <p>○また、防犯登録事業の収入確保のため、自転車等防犯登録制度のPRに努めるとともに、法人の活動やその果たすべき役割を広く周知し、賛助会員の拡充を図るなど、財政基盤の強化を図りたい。</p>	<p>○住宅侵入窃盗や自動車盗、ニセ電話詐欺をはじめ、県民に身近な犯罪の被害を防止し、県民の治安に対する不安を払拭するため、犯罪被害が発生する原因や課題を分析し、具体的かつ効果的な被害防止対策の啓発活動を推進するよう指導していく。</p> <p>○また、県民のディフェンス力の向上のため、防犯思想の普及・高揚に努めるとともに、引き続き、地域住民、関係機関と連携した犯罪の起きにくい社会づくりの推進を図るよう指導していく。</p> <p>○さらに、自転車等防犯登録制度の広報啓発や賛助会員の新規獲得など、財政基盤の強化にも目を向けた活動の推進について指導していく。</p>

課題及び今後の対応	
課題	今後の対応
<p>○令和5年度における経営評価の結果は、概ね良好の評価であるが、令和4年度中の経営状況は、正味財産増減額は減収等の理由により、赤字を計上しているため、財政基盤の強化を図る必要がある。</p> <p>○防犯ボランティア構成員の高齢化の傾向にあることから、若手構成員の獲得が必要である。</p>	<p>○財政基盤の強化を図るため、引き続き県内企業・団体の個別訪問や広報誌「ちいきあんぜん茨城」等への掲載を通じ、協会活動への賛同を募り、賛助会員の新規獲得に努めていく。</p> <p>○また、令和5年度に利回りの良い公債を新規購入するなど、専門家の助言を得ながら健全な資産運用に努めている。</p> <p>○若手構成員の獲得のため、防犯パトロール等の必要性を浸透させ、防犯ボランティア活動の活性化を図るとともに、功労のあった団体や個人に積極的な賞揚を実施する。</p>